児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 3 月 15 日　　事業所名　こどもの城ミュー

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		児童の特性に配慮できるよう個室を多く設置し、児童個々の内言のあり様に合わせて各スペースができるよう設置している。教材、遊具、楽器、その他多く取り揃えてあります。改善は常に職員間で行い整理整頓、衛生面にも適宜毎回職員個々が気を配っている。遊具 場所や活動をする場所、待合室が分かれていて、気持ちを切り替えができるよう配置し、児童の気持ちに寄り添える環境に適しているのだと思う。	法令に遵守したスペースを確保しています。今後も様々な工夫をしながら維持します。
	2	職員の配置数は適切である	6		個別対応の為、担当職員が固定化されないようにしている。多く 職員を配置し、戸外に出る 際に一対一で対応出来たり、利用者一人一人と密に関わる時間を持っています。	現在、法令の基準を大幅に超えた 職員数を配置してお ります。その強 みを活かした支援を工夫していきま す。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		重度の児童の対応も出来るだけ負担を軽く出来るよう、介護士職員から保護者への介助の聞き取り、アドバイス、可動域の介助の提案、動作法を通してその内容を職員間で共有している。情報は適宜共有できるように記録している。保護者の情報交換も常に行い家族支援を心がけている。空間や遊具を柵で仕切りを作っ て、目的が分かりやすくなるようにしています。 また待合室と活動場所が分かれている。	住宅改装ができないので、介護士職員から保護者への介助の聞き取り、アドバイス、可動域の介助の提案、通してその内容を職員間で今まで通り共有していく。情報は適宜共有できるように記録している。保護者の情報交換も常に行いバリアフリーではない場所でも対応できるようになったと保護者から喜ばれている。今後も気持ちのバリアフリーで対応していきたい。限られたスペースの中で、より良い構造化が進められるよう検討していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		環境衛生面は職員で個々に適宜アルコール消毒を行っている。アロマを通した空間浄化・空間作りを資格職員が主だって実施する。児童の特性に配慮できる様、個室を多く設置、児童の内言のありように合わせて各スペースができるよう配置している。	今後も、清潔で心地よく過ごせる環境の維持に努めま す。また、利用者様が来所する前に危険がないか常に点検していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6		iPadを配置し、守秘義務を前提に日々の記録や写真動画を共有し気になるケースは相談員に情報をまとめ共有。保護者の聞き取り申し送りも相談員に集約して、待合室を利用し相談、その情報を職員間で申し送り、今後の目標や解決に繋げている。サービス提供についての振り返りを共に行っています。また、適宜ミーティングを行い 情報共有をし業務改善に繋げてい ます。	日課活動や、現場支援に際しての振り返りなど職員間 の話し合いの機会を設けて、共通理解を深め業務改善 に取り組んでいきます。
業務改善	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		適宜、掲示して職員、来所者すべての人が回覧出来る様にしている。また、保護者からの聞き取りやアドバイスを尊重し、業務改善等に繋げている。	評価表の結果を受け、職員間でのミーティングの機会を 設け保護者様の意向を共有し業務改善に取り組んていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		毎年紙媒体での掲示、ホームページにも掲示している。	保護者様向け評価表、事業所向け評価表の結果を踏 まえ、自己評価表を作成しホームページに公開します。SNSを通して保護者の評価の改善報告を予定する。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6		部署外の職員の来所を適宜行い、室内環境、業務の雰囲気、室内外の様子、業務改善の聞き取りも行っている。また、相談員や保護者、他の来所者からのアドバイスや聞き取りも適宜環境整備に寄与している。	今年度の事業所自己評価、保護者様からの評価による改善を実施し、第三者による外部評価をしながら改善していきます。その内容は適宜SNSを通して保護者の評価の改善報告を予定する
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		外部研修、オンライン研修に参画し研鑽を積んでいる。地域支援との勉強会へも参加して情報収集も心がけている。職員間の話し合いで気になる点に関しての研修をSNSや,ビデオ、書籍等々も活用しながら日々研鑽している。	今後も、外部研修に職員を派遣し、内部研修にも活かせるように努めます。今後はラウンジミューとして保護者との対談、座談会、ペアトレ等を行い保護者の日頃の思いや感じていることを全ての職員が関わることで、当事者との関わりや保護者にさらに寄り添えるようになるように意識向上になるよう実施していく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		相談員を中心に職員間の日々の記録写真動画、活動内の状況報告相談、保護者への声かけや聞き取り相談、相談員との適宜やり取り、職員間での情報共有をしながら、3か月6か月見直しを定期的に行っている。 相談員や活動に入る支援員が話し合いをしながら、こどもやその保護者、周りの環境などを共通理解しどのように活動を持っていくか話し合いをしている。	利用者様と保護者様のニーズや課題を職員間で情報 共有し、それを基に適切にアセスメントし児童発達支援計画を作成しています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		児童の特性に応じて、対応している。また新規の児童は、保護者からの情報を相談員が常日頃から情報を聞き取り、職員間で共有して支援に取り組 んでいる。	アセスメントツールを通して、客観的に利用者様の状況を把握します。iPatを利用していつでも情報が共有できるようにしている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		児童発達支援の提供すべく支援の『発達支援（本人支援及び移行支援）』『家庭支援』、『地域支援』で示す内容を元に当事業所のスタイルを設定しこどもの支援に必要な支援を行っている。	事業所全体で児童発達支援ガイドラインについて読み 合わせ等を行い、理解を深めていけるように努めます。また保護者との話し合いの中で児童に合った支援内容になっているかどうか確認しながら支援に取り組んでいる。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		児童の特性に配慮できるよう個室を多く設置し、児童個々の内言のあり様に合わせて各スペースができるよう工夫して設置している。教材、遊具、楽器、その他多く取り揃えてあります。計画の改善は常に職員間で行い整理整頓、衛生面にも適宜毎回職員個々が気を配っている。	利用者様個々の支援内容が意識出来るように実施記録を活用しつつ、ツールを通して職員間で情報を共有或いは会議で話し合いを適宜行うこととする。その都度児童の支援計画に沿った支援になっているかを確認しあいながら支援を心がけています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		相談員からの情報を元に、日々児童に関わる職員以外でも適宜相談員事務担当も児童指導員と言う立場から児童に多くの時間を係る様にしている。その内容を全ての職員間で共有できる様にもしている。レスキュー対応が常にできるのも職員間のチーム連携が図られているからだと認識している。	様々な日課を通して療育ができるよう職員全員で検討 し、利用者様の意見も取り入れながら立案を行いま す。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		児童の特性に配慮できるよう個室を多く設置し、児童個々の内言のあり様に合わせて各スペースができるよう工夫して児童のやり苦しさの壁を取り除ける様に職員一同常に配慮し全て児童の居場所作りの環境設定を心がけている。教材、遊具、楽器、その他多く取り揃えてあります。計画の改善は常に職員間で行い整理整頓、衛生面にも適宜毎回職員個々が気を配っている。 子どもの気持ちを考え一緒に遊びを考え提案したり、のびのびと活動できるよう配慮している。活動に入る職員を固定せず、職員皆で順に活動に入るようにしている。	利用者様の特性をベースに、主体的に楽しく取り組めるような日課の開発に努めます。職員間で意見を出しあい季節を感じてもらう取り組みを重視し、季節の行事を入れたり、おでかけミュー等のイベントを開催したり散歩に出かけたり様々な児童の心の変化にも対応できるよう日課を取り入れていま す。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6		基本は児童の特性に配慮できるよう個室を多く設置し、児童個々の内言のあり様に合わせて各スペースができるよう工夫して児童のやり苦しさの壁を取り除ける様に職員一同常に配慮し、各スペースにいる数人の児童の居場所作りを損なわない様に個別支援を主として各部屋にいる児童との交流が少集団となり、共有支援となれる様配慮しながら実施している。教材、遊具、楽器、その他多く取り揃えてあります。計画の改善は常に職員間で行い整理整頓、衛生面にも適宜毎回職員個々が気を配っている。	利用者様の状態に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせていきます。(コロナ感染防止のため、現在は集団活動は行っていない。)、今現在保護者との確認事項を前提に時間帯に同席している児童との小集団遊びも実施。個別と少集団との関わりを観ることで全体の児童の様子を知ることもできる。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		児童の支援を固定しない為ランダムに担当決めて、iPadを通して情報の共有、留意点があれば適宜声かけ合いながら支援にあたっている。	その日のタイムキーパーの職員が、朝の会にて一日の活動の流れや日課の進め方などを周知して確認をしてい ます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		日々の記録写真動画の保存は元より、口頭で職員間での活動内容も保護者との会話等も常に情報共有している。	当日の支援終了後は、職員の勤務体制や送迎の兼ね合いもあり振り返りの時間を設ける事が困難なので、翌日の朝の会やミーティングの際に振り返り、情報の共有をするよう努めている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		日々の記録写真動画の保存は元より、口頭で職員間での活動内容も保護者との会話等も常に情報共有して改善も行っている。 利用後に記録をし、次回の参考にしている。	日々の支援記録を基に支援の検証を継続します。その留意点が何なのか、主訴は何なのか、見立ての立て方の研究を切磋琢磨しながら、職員間声を掛け合って児童に向き合っている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		日々の記録写真動画の保存は元より、口頭で職員間での活動内容もモニターリングの内容、保護者との会話等も常に情報共有し改善している。	モニタリングを通して支援の達成度、ニーズの把握に努めます。保護者への説明や聞き取りも合わせて行っている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		児童指導員兼相談員と児発官との役割分担をしながら、担当者会議に適宜参加している。要対協にも子どもを守る地域ネットワークにも参加する様に心がけている。	各種担当者会議に出席し、情報の共有か図れるよう体制を維持します。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6		親子通園連絡会議、支援センター連携会議、自立支援会議にも積極的に参加して情報共有して支援に寄与している。地域連携の位置付けとして参画している	可能な限り関係機関の研修会などに参加する機会を設けます。また、必要に応じて連携が図れる体制を維持します。オンラインでの対応、等も利用しながら専門家のアドバイスも行いながら実施している。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6		当事業所は県内全域の指定、障害種別を気にすべく全ての児童を『大切なこども』と位置付けてどの様な場合でも対応している。医療的ケア児童であれ保護者の安心安全を前提に居場所作りとして来所を歓迎して保護者のケアもしている。なお、医療的ケアは保護者が行って頂きその補助を職員で行って役立てている。	こどもの居場所づくりの場所づくりに寄与し保護者と連携して、心のバリヤフリーを大切に見守りたいと思う。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	1	保護者や相談員や関連機関との連携を通して情報共有している。保護者や相談員や関連機関との連携を通して情報共有している。 能な限り関係機関の研修会などに参加する機会を設けます。また、必要に応じて連携が図れる体制を維持します。必要あれば実施する。	こどもの居場所づくりの場所づくりに寄与し保護者と連携して、心のバリヤフリーを大切に見守りたいと思う。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		移行支援の援助は相談業務の一つとして位置付け、その時期前より保護者へのアドバイス並びに手続き、情報共有、関連機関への手配、連携、相談員との連携を行っている。必要な場合は学校訪問や保護者同伴も担っている。	随時、情報共有や相互理解が図れるよう、連絡会や担 当者会議に参加てきる体制を維持します。今後も外部研修に参加し、研修で学んだ事を周知して支援に活かし、職員全体の専門性を高められるよう努めます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		移行支援の援助は相談業務の一つとして位置付け、その時期前より保護者へのアドバイス並びに手続き、情報共有、関連機関への手配、連携、相談員との連携を行っている。必要な場合は学校訪問や保護者同伴も担っている。	随時、情報共有や相互理解が図れるよう、連絡会や担 当者会議に参加てきる体制を維持します。今後も外部研修に参加し、研修で学んだ事を周知して支援に活かし、職員全体の専門性を高められるよう努めます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	各中核都市の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、県の発達障害支援センター等の専門機関と密に連携が取れているのが当事業所の特徴です。	戸外活動を多く取り入れたり、地域の児童館や公園等 を積極的に活用する。また、子ども園や保育所等と、どのような交流を図れるのか検討していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	4	保育所等施設との交流自体はないが、戸外活動で利用客等の子どもとの関わる機会があるので良いと思う。おでかけミューを開催し、地域支援の位置付けで近隣の児童施設（園・学校）と連携し活動している。	学校や園の研修やイベントがある際は、随時参加できる体制を維持します。おでかけミューを開催し、地域支援の位置付けで近隣の児童施設（園・学校）と連携し活動している。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	4	地域連携は当事業所の柱でもあり、家族支援の観点から保護者の地域支援への仲介にも役立てもらう様に配慮している。おでかけミューと題して地域連携を地域の他事業所の児童や職員、支援センターの児童や職員、相談員の参加を促した音楽療法ワークショップ開催、各こども園、保育所、子育て支援センター、支援センター、支援学校や支援クラス対応した音楽療法ワークショップを開催したりしながら地域支援連携に努めている。機会があれば行いたい	SNSや掲示、保護者の送迎の際の申し送り等を通して、利用者様の様子を伝えたり、情報を共有、交換する体制を維持します。相談の内容によっては守秘義務を前提に外部の関係団体と協力し対応に当たっている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		活動支援後保護者に活動写真や動画、作品等を保護者に見せながら報告をし、逆にアドバイスを保護者から頂いたり、こちらから聞いたりしながら情報を共有している。必要なら相談に常に応じて対応している。	職員によるペアトレ研修への参加、職員への周知を行 い学びを深めます。また、保護者様に対して研修、講習の機会があれば随時お伝えしていきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）の支援を行っている	5	1	待合室での共有する内容の相談があった場合など共有できる保護者へ声かけしてワークをしたりしている。ラウンジミューと題してお茶会をしながら共有の話題を保護者中心に職員も立ち会いアドバイスを相互に話し合いをしている。	職員によるペアトレ研修への参加、職員への周知を行い学びを深めます。また、保護様に対して研修、講習の 機会があれば随時お伝えしていきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		見学体験の時に説明して、改善あるたびにSNS等を利用して保護者への周知徹底を行っている。掲示も声かけもその都度行っている。	契約の際には、保護者様に分かりやすく丁寧に説明す るよう継続します。職員にも周知し関心を持って職務にあたる。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		重要事項説明書に集約されているので、それを細く交えながら適宜声かけをして理解をしていただいている。	保護者様に対して、児童発達支援ガイドラインや支援センターやツィエン関連施設の資料も合わせてSNS発信や資料配布を検討する。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		待合室に保護者が待機している時、声かけして保護者の悩みを引き出すお手伝いをしてアドバイスしたり地域支援に仲介したり行っている。	保護者様からの相談については、職員全体で話し合い ながら迅 速かつ適切に対応できるよう努めます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2	特には設定はしていないが、SNSを通して情報共有、おでかけミューの開催で交流の場を作っている。今後は増やしていきたい。	緊急事態宣言中は行えず、その後県のレベルに合わせ、おでかけミュー、ラウンジミューを呼びかけて開催周知に努める。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		地域連携支援を柱にも掲げていることもあり、保護者や児童の地域との連携仲介や支援も行っている。待合室に保護者が待機している時、声かけして保護者の悩みを引き出すお手伝いをしてアドバイスしたり地域支援に仲介したり行っている。	迅速に対応できる申し入れについては現在の体制を維持し、職員全体で検討が必要な相談については、その旨を伝え適切に対応します。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	職員間で共通理解を持ち、課題について話し合いを設けている。地域連携支援を柱にも掲げていることもあり、保護者や児童の地域との連携仲介や支援も行っている。待合室に保護者が待機している時、声かけして保護者の悩みを引き出すお手伝いをしてアドバイスしたり地域支援に仲介したり行っている。	現在フェイスブックページやLINE、ホームページにて発信しているが、活動風景は今後更新頻度をあげるよう努めます。また、情報を保護者の興味関心を図る上で、他機関とも協力し情報発信していきたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6		活動中知り得た個人の情報は相談員と情報共有し、写真動画等も含めて漏えいに職員一同常に注意を払っている。	内部研修を行い、適切な個人情報の取り扱いについて 理解を深めます。
		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	2	家族支援の観点から家族療法の心理的支援を全職員協力して配慮気遣いを怠らず、守秘義務も厳守しながら行っている。言葉掛けだけでは無く、実際に見せて説明するなどしている。	写真や絵カード、マカトンサイン、文字盤などの使用を継続し、 意思疎通を図っていきます。当事業所のソーシャルスキル・アサーションスキルの内容を職員保護者に伝え理解しやすいように努める。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2	地域連携は当事業所の柱でもあり、家族支援の観点から保護者の地域支援への仲介にも役立てもらう様に配慮している。おでかけミューと題して地域連携を地域の他事業所の児童や職員、支援センターの児童や職員、相談員の参加を促した音楽療法ワークショップ開催、各こども園、保育所、子育て支援センター、支援センターや、支援学校や支援クラスに対応した音楽療法ワークショップを開催したりしながら地域支援連携に努めている。機会があれば適宜行う予定。	現在行っている事や地域支援を継続しながら、今後も地域に根差した運営方法について検討します。また、おでかけミューを充実したものにし、支援活動に常げていきたい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	2	避難訓練はやっていないが、支援の中で防犯や危険性、避難経路の意味づけを声かけしてやっているが、まだまだ安心安全の観点から組織図、避難経路図、避難場所分かりやすく掲示、声かけを怠らない様に適宜周知していければと感じる。 周知しているが訓練としては行っていない。	訓練を見立てて支援の中で意識付けを声かけを重視する。また、そのの様子をホーム ページ等にて公開し、保護者様へ周知をしていく。その都度、事業所全体でマニュアルを確認していきます。避難訓練はできなくとも児童や保護者にも理解しやすい、避難経路図や避難場所を掲示する予定。
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	2	避難訓練は通常は行っていないが、活動の中で常に避難通路や避難口であることを職員が意識しながら児童へ声かけしている。	避難訓練はできないが、児童や保護者にも理解しやすい、避難経路図や避難場所を掲示する予定。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	1	体調不良の場合は休んでいただくか、保護者が大丈夫と判断した場合に限り支援を行う。保護者待機での支援を声かけしている。また、てんかんやアレルギーに関しても保護者からのアドバイスを聞き取りし、職員間で声かけして見守りを行いながら支援を実施している。	契約の際に保護者様からヒアリングを行い、アレルギー のある子は定期的に把握、確認を行う。また、今後医師 指示書が必要になるのか検討をします。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	4	保護者からの情報共有を中心に空気アレルギーにも配慮しアロマを通して環境づくりをするとともに日々の換気、消毒は怠らない様に徹底している。食事提供なし。 基本的に施設内での飲食(水、お茶の水分補給は除く)がない。	契約の際に保護者様からヒアリングを行い、アレルギー のある子は定期的に把握、確認を行う。また、今後医師 指示書が必要になるのか検討をします。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	事業所内のクレドで職員へ周知している。	ヒヤリハット事例集を活用し、迅速に対応し安全に支援 が提供できるよう努めます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1	適宜、虐待防止の研修に参加して 、研修動画などを利用して理解に努めている.	内部研修を継続する。職員の学びや理解を深めていけるよう対応する。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	1	こどもの発散や自傷行為が生じる場合、生じた時には安全安心を優先して見守りをする。手を身体に出した場合、出さないといけない場合は保護者へ声かけして許可をうながしている。	身体拘束について事業所全体で理解を深め対応しま す。また、必要であれば保護者様に了解を得た上で児童 発達支援計画に記載します。

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。